

【 診療科:消化器外科 】
【 レジメン登録番号:SG-143 】

〈 mFOLFOX6療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)		
			1		14
オキサリプラチン	85mg/m ²	div	○		
レボホリナート	200mg/m ²	div	○		
フルオロウラシル	400mg/m ²	全開div	○		
フルオロウラシル	2400mg/m ²	div	○		

【1コース期間: 14 日】 【総コース数:制限なし(術後補助療法の場合は12コースまで)】

【適応癌種: 小腸癌 】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	下薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	デキサート 6.6mg	div(15分で)
	5-HT3R Blocker 1A	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2-1	オキサリプラチン 85mg/m ²	側管div ^{※1} (2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.2-2	レボホリナート 200mg/m ²	div ^{※1} (2時間で)
	5%ブドウ糖液 250mL	
Rp.3	フルオロウラシル 400mg/m ²	div (10分以内で)
	5%ブドウ糖液 100mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div (全開で)
Rp.5 ^{※2}	フルオロウラシル 2400mg/m ²	div (46時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※2}	

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(125mg)	p.o.

〈第2-3日目〉

Rp	薬剤名	投与経路
Rp.1	アプレピタントカプセル(80mg)	p.o.

【参考文献:NCCNガイドライン Ver5.2024、Int J Clin Oncol (2017) 22:905-912、Cancer 2016;122:693-701】

【備考:※1…オキサリプラチンとレボホリナートは同時投与。】

【備考:※2…Rp.5を末梢で投与する場合は上記オーダーで。CVポートより投与する場合は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(バクスターSV2.5)を使用する。】
【インフューザーポンプ使用する際の生食希釈量は、携帯型ディスポーザブル注入ポンプの説明書を参照。】